



受益者の皆さまへ

2020年3月10日
ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷俊介

＜特別レポート＞ 『マーケット動向に一喜一憂せず、過度に悲観的にならないことが大切』

世界的な新型コロナウイルス感染拡大や原油価格の急落、米国債利回り低下による急減な円高も加わって、世界の株式市場は昨日大きく調整いたしました。ありがとうファンドの基準価額は、昨日(3/9)、本日(3/10)と、それぞれ▲5.86%、▲3.68%と大きく下落いたしました。受益者の皆さまには大変ご心配をおかけしております。

今回の株価下落は新型コロナウイルス感染拡大が欧州や米国でも急速に広まっていることに対するリスク回避の投資行動が発端となっており、売りが売りを呼ぶ展開になりました。

超高速取引(HFT)やレバレッジを利かせた取引、リスクパリティ戦略、プログラム売買、アルゴリズム取引など以前よりも株価下落の振幅を増大させる要素が増加していることも急落につながった要因と考えられております。

足元、マーケットは先行きに対する不確実性が増してボラティリティの非常に高い相場になっています。今月の月次レポートの中でも申し上げましたが、株価は日々、適正な本質的価値を中心に振り子のようになにも下にも大きく動きます。時には行き過ぎた動きを示し、それがしばらく続きますが、中心から離れ過ぎたとしてもいずれは戻ってくるでしょう。

皆さまが不安に感じてしまうのは、人間は損失回避願望がより強いということが、行動ファイナンスのプロスペクト理論で明らかにされております。利益よりも損失の方が約2.5倍大きく感じると考えられています。例えば、10%の利益と10%の損失を比較すると、損失の方が2.5倍大きく感じるため、損失は25%くらいに感じられるので、皆さまが不安になる気持ちもよくわかります。

将来のために長期投資で資産運用されている皆さまは、日々のジェットコースターのような値動きに一喜一憂することなく、資産運用の目的・目標を確認して、一貫した運用方針でブレずに資産運用を継続していくことが大切です。

定期積立サービスをご利用されている方は基準価額が下がった局面でたくさんの口数を購入できます。取得単価が平準化され、ドルコスト平均法のメリットを享受できますので、無理せずに毎月のペースを守って継続していくとよいでしょう。

また、基準価額が下落していくことに不安になって、投資している分を一旦換金して利益を確定させる投資行動は、大きく下落している局面では想定より安値で換金してしまったり、利益確定によって売却益に課税されてしまったり、基準価額が反発する局面で上昇の恩恵を受けられないというリスクもあります。今すぐにお金が必要ではないのであれば、換金せずに保有し続けた方が、課税を繰り延べられるので、後から買い戻して資産運用を継続するよりも税金面で有利になるでしょう。

繰り返しになりますが、将来のための資産形成や余裕資金の資産運用であれば、このような局面では、過度に悲観することなく、マーケットの日々の値動きは気にせずに中長期の目線で資産運用を継続していくことが大切です。

株式市場は、今までにショックや危機と言われるものを幾度となく乗り越えてきました。そして、その度に大きな下落から回復してきました。皆さまの記憶に新しいところでは、100年に一度の危機と言われた2008年のリーマンショックとそれに続く金融危機があります。当時も世界恐慌の再来が叫ばれて、まったく先の見えない状況でしたが、株式市場は下げ止まり、時間はかかりましたが危機前の水準を回復して世界経済の成長とともに上昇してきました。

新型コロナウイルスの感染拡大がいつ収束するかは現時点ではわかりませんが、思ったよりも短期間で収束するかもしれませんし、想定以上に時間がかかるかもしれませんが、いつか収束したタイミングでは、下がり過ぎたものは反発して回復していくでしょう。

世界経済の成長は、新型コロナウイルス感染拡大によって収束するまでは短期的には減速、下振れするリスクが小さくありませんが、中長期の目線で見れば、世界経済は長期的な世界の人口増加とそれに伴う生産・消費の拡大を成長ドライバーに今後も成長していくと考えられています。

弊社の運用方針に変更はなく、引き続き短期的な相場変動に惑わされることなく、長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を長期で享受できるように、幅広い国や地域の質の高い企業に厳選投資しているファンドに国際分散投資をするとともに、リスクオフ局面、金利低下環境で相対的に価値向上が期待できる金（ゴールド）にも投資することでリスクを抑えながら安定したパフォーマンスの提供を目指してこれからも運用を行って参ります。

これからもお客様の資産運用を一生涯サポートできるように、役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【ありがとうファンドの基準価額】

日付	基準価額	前日比	前日比騰落率
2020/3/9(月)	17,216 円	▲1,071 円	▲5.86%
2020/3/10(火)	16,552 円	▲664 円	▲3.86%

＜本件に関するお問合せ＞

ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部

フリーコール:0800-888-3900 (8:30-17:30 土日祝・年末年始を除く)

■この資料は、勧誘を目的とした、ありがとう投信株式会社の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、ありがとう投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

■投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、お客様自身にて判断いただきますようお願いいたします。当社のファンドに係るリスクについて当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式を実質的な主要投資対象としており、株式投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【ありがとうファンドについて】

■申込時に係る費用申込手数料はかかりません。

■解約時に係る費用解約手数料はかかりません。

■保管期間中に間接的にご負担いただく費用(信託報酬)

ファンドの純資産総額に年0.99%(税込)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.6%±0.20%(概算)となります。※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■目論見書のご請求はありがとう投信株式会社まで

〒110-0005 東京都千代田区内神田2-15-9 フリーコール:0800-888-3900

商号: ありがとう投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会会員

以上